

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	症例	適正 使用 措置	感染症(OT)	出典	概要
406	2007/08/24	70406	フレリング・ ファーマ	ヒト下垂体性腺刺激ホルモン	ヒト下垂体 性腺刺激 ホルモン	閉経後婦人 尿	アルゼンチ ン	有効成分	有	無	無	デング熱	ProMED- mail20070320.0972	アルゼンチン保健省の報告によるとデング熱の確定症例は149例で、その内3例のみが国内Formosa地方での獲得症例である。最近、最も影響を受けている北部地域では症例数は25%増加した。更に疑い例として608例が検査中である。
												デング熱	ProMED- mail20070320.0972	2007年3月13日アルゼンチン保健省は、最近7日間のデング熱新規症例が38例のみであったことから、デング熱アウトブレイクは抑制されたと発表した。3週間前のアウトブレイク以来、156名の感染が確認されたが、致死的な出血性変異株の患者はいなかった。3月12日にはデング熱症候のため588名が医学的支援を求めている。
												レプトスピラ症	ProMED- mail20070429.1395	アルゼンチンSanta Fe地方で2007年4月に同地方を襲った嵐の後にレプトスピラ症のアウトブレイクが起こった。Rosarioでは疑い例が39例あり、内3例が確定された。Santa Fe地方では約400例に達した。首都ではこの病気の症状の5例が死亡した。Rosarioでの疑い例39例は最も洪水による被害を受けた地域で発生しており、当局は洪水被害を受けた地方全域に警告を発した。
												炭疽	ProMED- mail20070519.1590	アルゼンチンでは2008年に29の炭疽アウトブレイクがウシで起こり、ヒト皮膚炭疽症例が計9例(内3例はBuenos Aires地方)であった。1997年以降、年間発生率は減少しつつある。
407	2007/08/24	70407	CSLベーリ ング	人血清アルブミン 人免疫グロブリンG 破傷風抗毒素 フィブリノゲン加第XIII因子 ペプシン処理人免疫グロブリンG 乾燥濃縮人アンチトロンビンIII	ヘパリンナ リウム	ブタ腸粘膜	中国	製造工程	無	無	無			
408	2007/08/24	70408	CSLベーリ ング	人C1-インアクチベーター	人C1-インア クチベーター	ヒト血液	米国、ドイ ツ、オースト リア	有効成分	有	無	有	ウイルス感染	Transfusion 2007; 47: 162-170	輸血により、サルボームウイルス(SFV)感染が起こるかをアカガザルを用いて調べた。感染ザルの血液を非感染ザルに輸血したところ、輸血されたザルの血液から8週後にプロウイルスDNAが検出され、その1週間後にセロコンバージョンが起こった。血しょう中に検出限界下限のSFVが検出された。また感染29週目に唾液中にSFVが検出された。輸血によりSFVが感染することが初めて示された。